



椎名乳業株式会社  
〒160-0008  
東京都新宿区四谷三栄町 14-6  
電話 03-3351-0052



Life & Work  
わたしの  
天職

つながりを大切に  
地域の健康をサポート

椎名健太さん(55)  
東京都・新宿教会

東京都新宿区のJ R四ツ谷駅周辺はオフィスビルや学校が立ち並び、通勤・通学する人がたくさん行き交う。大通りの交通量も多いが、国史跡の江戸城外堀跡もあり、都会ながら歴史情緒が漂う町だ。この地の閑静な住宅街に、椎名健太さんが社長を務める椎名乳業はある。大手メーカーの特約店で、牛乳や乳製品のほか健康に役立つ商品を扱う。千軒以上の家庭をはじめ、オフィスや銭湯、保育園などにも届けている。

一九五四年、文京区小石川の牛乳店に奉公していた祖父(誠・享年77)が独立し創業。以後七十年の歴史を持つこの店で、椎名さんは学生時代から配達などの手伝いをしてきた。大学卒業後は住宅販売会社に就職したが、ノルマに追われる環境に挫折し、一年ほどで家業に戻った。どんな天候でも朝夕の配達に欠かせない厳しい仕事だが、人もまばらな早朝の町をバイクで駆

ける爽快さが、心の疲れを吹き飛ばしてくれたいという。現在は顧客対応や会計業務などが主な仕事。配達の手配やルート調整やルート管理に長年の経験と知識を生かすとともに、欠員があればいつでも配達を買って出るアクティブな社長だ。

信仰二代目の母(キクエ・87)の勧めで立正佼成会の教えを学び始めた。今、経営者として指針にするのは庭野日敬開祖の言葉だ。法話を集めた小冊子『リーダーとは』を読んでは、社員とのふれあい方、仕事に対する姿勢を振り返っている。「社員とうまくいかにいときは、すぐに読みます。自分に足りないものを教えてくれる参考書のようなものです」とはにかむ。

後継者となる長男の孝至さん(27)に期待を寄せている。昨今の商店街では、後継者不足や大型商業施設の展開などで、「町の〇〇屋さん」はなくなりつつあるが、「〇町の〇〇屋さん」は直接お客さまの声を聞き、寄り添う存在。そうしたつながりで信頼を育めば、続けていける商売だと思います」と椎名さん。配達先には四十年以上契約を続けている家庭もある。これからも、地域の人々の健康を支え続けていく決意だ。

\*立正佼成会経営者サンガネットワーク「六花の会」  
<https://rikkanokai.jp/community/>  
4月1日から上記ウェブサイトでもこの記事がご覧になれます。

